

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための
自己点検・評価報告書

平成31年3月

御前崎市教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	はじめに	1
1	趣旨	2
2	点検・評価の対象	2
3	点検・評価の方法	2
4	点検・評価結果の構成	2
II	御前崎市教育委員会の職務・事業内容	3
1	教育委員会の活動	3
	施策1 スクラムプランで推進する教育委員会	4
2	教育委員会が権限を持つ事務	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
	施策2 これからの社会を生き抜くための心の根っこ の育成を図る乳幼児教育	5
	施策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力 の育成を図る学校教育	5
	施策4 だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習 の推進を図る社会教育	6
	施策5 市民とともに考え、ともに歩む図書館	7
	施策6 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食	7
	施策7 充実した教育環境の整備を図る教育総務	8
III	御前崎市教育委員会の自己点検及び評価	10
	大項目1 教育委員会の活動	10
	大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	12
	大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	13
IV	学識経験者の意見	31
V	総合評価	32

I はじめに

御前崎市教育委員会では、第2次御前崎市総合計画の基本目標「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」に基づき、毎年度発行している「スクラム御前崎」の中で、教育の基本目標と主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めているところです。

このような中、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすため、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられました。このことを受けて当市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、市民への公表を行ってきました。

本報告書は、平成30年度御前崎市教育委員会の活動及び「スクラム御前崎」で示した主要7項目の実現のための25施策について点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見をいただくとともに、第三者的立場から静岡大学名誉教授(松本大学教授)の山崎保寿氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめました。

市民の感覚・視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取組方針が明確になる点において、大変意義のあるものと思います。

今後も「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」を基本目標として、園、学校、地域、行政がスクラムを組み、それぞれの施策を推進していく所存です。

平成31年3月

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

1. 趣 旨

主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることによって、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市民に公表することによって、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成30年度における教育委員会の職務内容や主要な施策・事業を対象として実施しました。

3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、平成30年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことによって課題や今後の取組の方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元小学校長 澤入 眞佐義 氏、元幼稚園長 増田 喜巳子 氏、元中学校長 杉浦 尚志 氏、前教育委員 紅林 幸枝 氏の御意見や、静岡大学名誉教授（松本大学教授） 山崎 保寿 氏に総合評価をいただくことによって、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

4. 点検・評価結果の構成

点検・評価結果については、「御前崎市教育委員会の自己点検・評価シート」で表しました。

自己点検・評価シートは、教育委員会の職務、事業内容及び事業体系を大きく3つの大項目に区分した構成となっています。

① 大項目1「教育委員会の活動」

教育委員会という組織の自らの行動、すなわち教育委員が自ら行う行為・活動を中心に、点検事項として教育委員会会議の開催回数、運営、広報・公聴、研修会など小項目を設け、点検・評価の対象としました。

なお、「スクラム御前崎」で掲げられた具体的施策のうち、「(1)スクラムプランで推進する教育委員会」については、この大項目内の項目に含むものとして評価を行いました。

② 大項目2「教育委員会が権限を持つ事務」

地方教育行政法及び御前崎市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則(平成16年教育委員会規則第5号)の定めるところにより、教育委員会の権限のうち教育長に委任せず教育委員会が合議によって定め実施する事項となります。これについて、教育委員会が自ら権限を持つ事務として区分し、15の中項目に分けて構成いたしました。

この大項目内の各項目については、各事業実施年度において、教育委員会が計画し実施する性質のものではなく、事象が発生したときに法律等により実施義務が生じるものであります。従って事業実施年度における事象の発生件数とその事象への対応状況の点検を行いました。

③ 大項目3「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育委員会の職務及び事業から①及び②に掲げた事項を除いた部分について、教育長に権限を委任して行う事務としてまとめました。この部分については、「スクラム御前崎」に掲げられた具体的施策のうち、(2)から(7)までの6項目について評価を行いました。

II 御前崎市教育委員会の職務・事業内容

自己点検・評価についての報告書をまとめるに当たっては、まずその対象となる教育委員会の権限に属する事務について、その概要の説明が必要となることから、教育委員会の職務・事業内容及び事業体系について記述し、その後、点検及び評価の対象年度における主要な事業について記述することとしました。

教育委員会の職務・事業内容及び事業体系については、既に「点検・評価結果の構成」において記述したとおり、「教育委員会の活動」、「教育委員会が権限を持つ事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」と大きく3項目に区分して表すことにしました。

以下、それぞれの大項目について示します。

1. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、地方教育行政法の定めるところにより、学校その他教育機関の設置、管理その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、教育委員会の代表者である教育長と4人の教育委員をもって組織される合議体の執行機関です。

(2) 教育委員会の構成

御前崎市教育委員会の構成は、次のとおりです。

ア 教育長・・・教育長は、御前崎市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、市長が議会の同意を得て任命します。教育長は常勤で、任期は3年です。教育委員会の意思決定に基づき、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

イ 委員・・・委員は、御前崎市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意

を得て任命します。任期は4年で非常勤です。

(3) 平成30年度教育委員

役職名	氏名	任期
委員	吉村 勝	2016年 6月24日～2020年 6月23日
委員	下村 勝	2018年 6月24日～2022年 6月23日
委員	竹田 和世	2017年 3月 1日～2019年 6月23日
委員	紅林 幸枝	2016年 6月24日～2018年 6月23日
委員	島田 恵美	2018年 6月24日～2021年 6月23日
教育長	河原崎 全	2018年 4月 1日～2021年 3月31日

施策1 スクラムプランで推進する教育委員会

大項目1にて評価

2. 教育委員会が権限を持つ事務

教育委員会の職務権限は、地方教育行政法第21条にその職務権限が定められていますが、その職務権限に係るもののうち、以下のものについては、同法第25条第2項により教育長に委任することができず、直接、教育委員会が行うこととされています。

- (1) 学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。
- (6) 県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。
- (7) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免を行うこと。
- (8) 学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。
- (9) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
- (10) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。
- (11) 社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。
- (12) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。

- (13) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (14) 教科用図書採択に関すること。
- (15) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

御前崎の教育『スクラム御前崎』で示している平成30年度の具体的施策のうち、その管理、執行が教育長に委任されている事業は次のとおりです。

施策2 これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。そのため、乳幼児期からの安定した生活を基礎に、園での主体的な遊びを通して、人として生きていく力の基礎を育んでいきます。また、園で培った力が滑らかに小・中学校に接続できるようスクラム・スクール・プランを積極的に推進します。

- (1) 『遊び込む子』育成を目指し、保育の質を高めます。

『遊び込む』とは、幼児が身近な環境に興味関心をもって自ら関わり、遊びを継続し、発展させながら夢中になって遊ぶ姿です。『遊び込む』ことで充実感や満足感を味わい、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性などこれからの社会を生き抜くための心の根っこを育てられるよう、教育・保育を充実させます。

- (2) 家庭や地域と一緒に子どもを育成します。

家庭・地域との連絡や情報発信を強化し、一緒に子どもを育てていく意識の向上を図ります。また、こども園併設の地域子育て支援センターを通じて、在園時以外の親教育や育児支援を充実させます。

- (3) 早期からの発達支援の充実を推進します。

関係機関とスクラムを組み、早期からの発達支援を充実させることにより、保護者の不安解消やよりよい就学支援につなげていきます。

施策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育

学校教育の中で児童生徒に身につけさせなくてはならないのは、「これからの社会を生き抜いていくための資質・能力」です。『資質・能力』とは、「基礎基本の知識・技能」「思考力・創造力」「主体的に人・社会とかかわる力」のことです。

学校教育課は、「スクラム・スクール・プラン」を推進し、学校が児童・生徒に『資質・能力』を身につけさせる教育の営みを多角的に支えていきます。

- (1) 教職員一人ひとりの授業力の向上を図ります。

『資質・能力』の育成を図るために、園・小学校・中学校・高校の教職員がスクラム・スクール・プランを通して、子ども観や教育観を共有し「とぎれない教育」の実現を目指します。

(2) 心と体づくりを推進します。

豊かな心と思いやりのある心を育てるため、「スクラムグッドマナー運動」をはじめ地域へ貢献する活動を子どもたちの手で広げていきます。

(3) 個にきめ細やかに対応する教育環境体制づくりを進めます。

特別に支援を要する子や不登校に悩む子など、児童生徒一人ひとりに応じた教育を推進するために、「しおかぜ先生」や「スクールソーシャルワーカー」の配置など、きめ細やかな指導や支援の充実を図ります。

(4) スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります。

子どものよりよい成長は、園・学校教育はもとより、家庭や地域がそれぞれの役割を理解し、責任を果たすことで図られていきます。そのため本市では、相互の教育力を相乗的に高めるコミュニティ・スクールの御前崎版となる「スクラムスクール運営協議会」を推進していきます。

施策4 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育

生涯にわたって学びを楽しむ風土を根付かせていくために、地域の特性も活かしながら様々な学びの機会を市民に提供していきます。

社会教育課は、園、学校、家庭及び地域とのスクラムを重視し、次の事業を展開していきます。

(1) スクラムで御前崎の教育を推進します。

青少年健全育成については、生活体験や世代・地域交流を通じて子どもたちの感動と規範意識を養う活動を推進します。そして、地域ぐるみでサポート隊活動などによる防犯活動、声かけやあいさつ運動を展開し、良好な社会環境整備に努めます。

また、保・幼・小・中学校と連携し、地域や行政も一体となってスクラムグッドマナー運動を推進します。

(2) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習を推進します。

地域の特色を生かした生涯学習拠点としての公民館活動の充実強化を図り、地域住民が気軽に立ち寄れる公民館として施設整備を進めていきます。

また、子どもから大人まで市民の学習意欲の高揚を図るため、CATV等とスクラムを組んで生涯学習活動に関する情報を発信します。

(3) スクラム・スクール・プランで子どもを育成します。

地域の隠れた文化財の発掘及び先人たちが守ってきた史跡名勝天然記念物や有形・無形の歴史的文化遺産などを後世に残す取組みとともに、これらの地域文化財を活用して郷土の誇りを育てる事業を推進します。

また、文化団体との連携を深め、芸術文化活動を支える市民力のより一層の醸成及び文化施設の適切な維持保全、積極的活用による文化活動の充実にも努めます。

(4) 生涯スポーツを推進します。

生涯を通じて健康な体をつくるために、基礎体力の向上に取り組むことは大切なことです。幼少期から基礎体力の向上を目指し、併せて誰でもスポーツを気軽に継続して取り組める環境をつくり、健康な体づくりを推進します。

(5) 地域の活性化、市民の健康と福祉の増進を図ります。

指定管理により、市民のスポーツ・レクリエーション及び文化芸術活動の振興を図り、健康で文化的な潤いのある生活環境づくりを推進すると共に、市が設置する公共施設等を効率的省力的でかつ市民のニーズに即応できる柔軟な運営・サービスと地域の活性化、市民の健康と福祉の増進に努めます。

施策5 市民とともに考え、ともに歩む図書館

生涯学習の拠点として、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが目的にかなった利用ができるよう、市民ニーズに対応したサービスに努め、地域に根ざした市民生活の拠り所となる図書館を目指します。

(1) 市民の力を活かした図書館活動を推進します。

地域の教育・文化の中心的役割を担う施設として、市民と協働し、大人から子どもまで学びたい場を提供し、その成果を発表する機会を設けるとともに、多くの市民が参加できる魅力ある文化活動を展開します。また特設コーナーを設け、時事等に関する資料や情報を掲示することにより、利用者の興味を喚起し、読書意欲が高まるよう創意工夫します。

(2) 子どもの読書活動を推進します。

子どもが読書に親しむための読書環境を提供します。また図書館内外のあらゆる機会をとらえ、学校や園等の教育機関とスクラムを組み、市民ボランティア等の協力を得ながら積極的に子どもたちとふれあい、読書の楽しさ・魅力を発信します。

(3) 生涯学習の拠点として快適で魅力あるサービスを提供します。

市民のニーズに対応した資料の収集・提供をするとともに、確実な利用管理、蔵書管理をします。そして生涯学習を支える施設として、市民生活に必要な調査・研究を支援します。

また、施設の経年劣化に対する修繕等を施し、快適な環境を提供できるよう努めます。

施策6 子どもの心と体を支える魅力ある給食

(1) 食育と地産地消を推進します。

園、学校、保護者等と連携を図り、給食試食会参観と同時に栄養講話「食育について」を、依頼に応じて実施します。また、園、学校等で定期的に食に関する指導「15分指導」を実施します。

また、旬の食材等を取り入れた献立を作成し、地産地消を推進し、学校給食を「生きた教材」として活用し、献立づくりの工夫に努めるとともに、園・学校・給食センターで連携を図り、残食の減少を目指します。

食物アレルギー対応食申請者には、保護者、学校、栄養教諭との個別面談等により連携を図り、対応食を実施します。

(2) 施設や設備の計画的な整備を推進します。

浜岡・御前崎学校給食センターを統合し、新たな学校給食センター施設建設に向け計画的に進めます。

調理場における施設、設備、食品の衛生管理、調理員の日常の衛生管理及び物資の納入から調理、配缶、配送に至るまで文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に沿った対応ができるよう徹底します。

学校やP T Aと緊密に連携をとりながら、給食費の未納の解消に向けた対策を徹底します。

施策7 充実した教育環境の整備を図る教育総務

園・学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習の場であるため、安全安心でこれからの時代に必要な教育環境の整備を図ります。

(1) 安全安心な教育環境の充実を図ります。

学校施設の長寿命化に向けて、子どもたちが安全安心に生活できる施設の維持管理に努めます。また、特殊建築物等の調査を行い、是正の必要がある施設・設備は、速やかな改善を図ります。

また、学校施設は、子どもたちの学習・生活の場として教育活動の基盤となるものであり、より機能的な教育環境を整備していく必要がありますので、快適で衛生的な施設環境の向上を図ります。

(2) I C T機器を活用した教育に必要となる教育環境を整備します。

小中学校と教育委員会を結んだ教育ネットワークを活かし、情報教育、教科指導における情報通信技術の活用、校務の情報化を推進していきます。

また、児童・生徒用の i P a d やデジタル教科書など I C T機器の利活用により、I C T教育を促進していくとともに、老朽化した情報機器を適切に更新していきます。

(3) 小学校に太陽光発電整備を設置し、エネルギー教育の環境を整備します。

国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業、御前崎市エネルギービジョン計画に基づき、市内公共施設への整備を推進しています。本年度は浜岡東小学校、御前崎小学校への太陽光発電設備を導入し、今後も他学校への整備を進めていきます。

(4) 浜岡中学校の建替えを進めます。

浜岡中学校は建築後 60 年が経過し老朽化が進んでいます。安全で充実した教育環境の整備及び学校基本目標である「光り 輝く 学校」に沿った改築を進めます。

Ⅲ 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

今回教育委員会の自己点検・評価について報告書をまとめるにあたり、教育委員会が行っている大項目1、2、3について自己点検評価シートにまとめました。

なお、「スクラム御前崎」に掲げる主要施策のうち、(1)は大項目1に含むものとして、(2)から(7)までは大項目3で点検・評価を行いました。

御前崎市教育委員会の 自己点検・評価シート	実現度	3			重要度	◎3段階評価とし、以下の達成状況により評価しています。
		2				○実現度 3・・・達成またはほぼ達成している(概ね80%以上) " 2・・・概ね達成している(概ね40%超～80%未満) " 1・・・達成していない(概ね40%以下) ○重要度も上記に準じて評価しています。
		1	2	3		

大項目1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点 検 ・ (評 価)										
(1) スクラムプラン で推進する教 育委員会	①『スクラム御前崎』の教育の推進をするため、教育委員の研修を深めます。	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度		■								<p>○教育委員がNTTラーニングシステムズ株式会社、杉並区立杉並第六小学校を訪問。「ICT機器の特徴」「ICTを活用した授業」について先進機器の情報および先進校の取り組みを多く学ぶことができた。研修を通して、ICT支援員を増員する必要性を感じた。</p> <p>○大和市文化創造拠点シリウスの視察を通して、生涯学習の拠点づくりの参考となる視座を得た。</p>
		■										
②常に実態・課題把握に努め、『スクラム御前崎』の教育の推進を図ります。	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			■							<p>(1)御前崎市教育委員会定例会 ○教育委員会の施策について審議するため、定例会を毎月1回計12回開催し、市の教育の充実に向けて活発な議論を行った。</p> <p>(2)総合教育会議 ○2回開催された「総合教育会議」において、1.「幼児教育の重要性(幼児教育が将来に与える影響)」、2.「平成30年度全国学力・学習状況調査について」、3.「2019年度御前崎市教育行政の基本方針について」市長と意見交換を行い、行政執行部の意見を取り入れた教育を推進した。開催回数を増やし、さらなる意見交換の場を設けることが今後の課題である。</p> <p>(3)園・学校訪問 ○小・中学校は年2回、幼・保・こども園は年1回、全校全園を訪問した。園や学校の概要説明を短くし、懇談会の時間を多く持つようにした。保育や授業の参観を通して見えた成果や課題を関係者と話し合った。園や学校のがんばりを認めるとともに、課題に対しては助言し、解決に努めた。 ○入学式、運動会などの園・学校行事にも、全委員が積極的に参加した。</p>	
		■										

<p>(1) スクラムプラン で推進する教 育委員会</p>	<p>②常に実態・課題 把握に努め、『スク ラム御前崎』の推 進を図ります。</p>		<p>(4)所管施設の訪問 ○御前崎市民会館、市民プール、丸尾記念 館、御前崎市文化会館、B&G海洋セン ター、清川泰次芸術館を訪問、市立図書館 にて教育委員会を開催するなどして所管施 設の現状、利用状況を確認した。施設利用 者の増加や利便性を上げるための提案をし ていきたい。</p>									
	<p>③園・学校・施設で の移動教育委員会 を行います。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="660 589 847 734"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■							<p>○教育委員会、小学校の教職員、PTA、 地域ボランティア、スポーツ少年団の指導 者、公民館長が語ることを通して、「外か ら見た子どもの姿」を多面的に考える場と して移動教育委員会を浜岡北小、御前崎小 で開催した。地域の人たちがどう感じてい るかを知ることができ、2小学区の特徴、 課題を見つけることができた。</p>
		■										
	<p>④『スクラム御前 崎』の活動を広く発 信します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="660 864 847 1010"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>○「スクラム御前崎」を関係機関等に配付 し、御前崎市の教育について広報した。 ○「スクラム御前崎」を御前崎市ホーム ページに掲載したが、閲覧者が少なく、周 知しきれていないため、閲覧者を増やすこ とが課題である。</p>
		■										

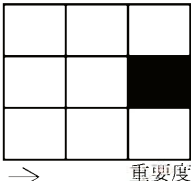
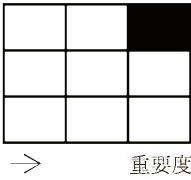
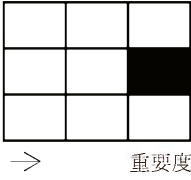
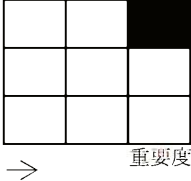
大項目2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	件数	点 検
(1)	幼児教育、学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。	1	○御前崎市教育委員会の主要施策を「スクラム御前崎」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。
(2)	学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。	0	
(3)	県費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。	1	○平成31年度教職員人事異動について内申を行った。(うち、懲戒件数0)
(4)	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	0	
(5)	前2項目に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。	0	
(6)	県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。	0	
(7)	教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免を行うこと。	0	
(8)	学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。	0	
(9)	教育委員会規則等の制定又は改廃について審議すること。	1	○御前崎市立浜岡中学校改築検討委員会設置要綱の廃止について について審議した。
(10)	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	2	○平成30年度2月補正予算案(2月) ○平成31年度当初予算案(2月) について具申した。
(11)	社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	3	○社会教育委員に2名、公民館運営審議会委員に20名、図書館協議会委員に3名を任命・委嘱した。
(12)	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。	0	
(13)	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。	0	
(14)	教科用図書の採択に関すること。	2	○平成31年度中学校用教科用図書(道徳)を採択した。 ○平成31年度小学校用教科用図書(道徳以外)を採択した。
(15)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。	1	○平成30年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。
(16)	その他	16	○御前崎市教育委員会教育長職務代理者を指名すること ○平成30年度準要保護児童生徒の認定について ○御前崎市牧之原市学校組合規約の変更につき教育委員会の意見を求めること ○御前崎市公民館の臨時休館日の承認について ○公民館のあり方検討について ○御前崎市立図書館の開館時間の変更について ○就学援助費申込書の様式変更について ○給食費支払督促対象者の承認について について審議した。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価																			
<p>(施策2) これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育</p>	<p>1 『遊び込む子』育成をめざし、保育の質を高めます。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="646 250 837 392"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="646 779 837 920"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>																			<p>(1) 自発的な遊びや体験を充実させる環境作り ○『遊び込む子』の具体的な姿の実現に向けて、可能性・多様性のある材の取り入れや、自発的な取り組みを促す物的、人的な環境の構成・援助に心掛けてきた。遊びの継続や発展が促されるよう、遊びの振り返りや言葉による思いの伝えあいに工夫が必要である。乳児においても、一人一人の思いやペースに丁寧に寄り添いながら自発的な遊びや生活が出来るような工夫や努力が見られた。</p> <p>○子どもが園に通うことを楽しみにしていると感じる保護者の割合は98%である。課題に対する手立て・仕掛けに対する考察について、全職員による共通理解を更に深めていきたい。</p> <p>(2) 遊び込む子を追求するスクラム研究会・歳児別研修会 ○外部講師からスクラム研、歳児別研、園内研等の公開保育を通して遊び込むための環境や援助について継続的な指導を受け、研修を重ねてきた。試行錯誤しながら指導案のスリム化に取り組んできたことで、保育の構想やねらいが精選・明確化され、それが遊びの充実にもつながってきているので、引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>(3) 教諭・保育士の資質向上を図る各種研修会 ○担任の9割が35歳以下、その内3割が3年未満という若い職員構成のため、資質向上が緊急の課題となっている。3年次までの全職員に外部講師による手厚い指導を加えたことで、子どもの捉え方や保育に向かう姿勢等が前向きになってきている。</p>
<p>2 家庭や地域と一緒に子どもを育成します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="646 1485 837 1626"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(1) 家庭教育の推進 ○朝食調査や朝食メニューのPRなどスクラムでの取り組みによって、朝食摂取への意識が少しずつ高まってきている。繰り返し啓発してもなかなか意識を持たない一部の家庭へは、細やかで粘り強い対応を引き続きしていきたい。</p> <p>(2) 地域子育て支援センターの充実 ○遊びの場の提供は勿論のこと、保護者同士の交流の場になったり、子育ての悩みや相談に応じたりすることで、支援センターが保護者の心の拠り所になってきている。活用が増加傾向にあり、スムーズな入園や園への理解にもつながっている。相談会や講習会などの充実に、更に努めていきたい。</p>										

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策2) これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育</p>	<p>2 家庭や地域と一緒に子どもを育成します。</p>	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(3)地域の教育力を生かした保育の推進(4)スクラムグッドマナーの推進 ○通園している子どもの保護者の中で、子育てを楽しんでいる方が多く、その割合は98%である。一方で、ネグレクト、虐待、DVなどの問題を抱えている家庭もあり、こども未来課と連携して家庭教育力の低下に対応していきたい。</p> <p>○行事や栽培活動等に地域の人をゲストティーチャーとして招いたり、グッドマナー挨拶運動に地域の人を巻き込んで取組んだりなど、様々な人の力を借りて、地域の自然や行事にふれたり体験したりできている。地域から園に依頼されるものもあり、子どもの興味関心や学びの連続性を踏まえた園側の体験させたい内容との兼合いや調整が難しい。指導計画と照らし合わせ、見直しや精選と共に、保育の意義を地域に理解してもらおう努力が求められる。</p> <p>(5)親子で考える防災教育 ○緊急時の対応・対策における地域とのつながりは地区によって温度差がある、具体的な連携方法</p>
	<p>3 早期からの発達支援の充実を推進します。</p>	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(1)すこやか相談(2)巡回相談・相談事業 ○複雑な家庭環境や家庭教育力の低下などの背景から、増加している要支援児に対し、巡回相談等で専門家によるアドバイスを受けたり、ケース検討会議を行ったりするなど、乳児の早期から望ましい支援に努めた。早期療育の必要性に対する保護者への理解、啓発は引き続き重要な課題である。必要だと思われる療育を多方面から粘り強く働きかける工夫と努力を継続していきたい。</p> <p>(3)個性伸長支援員配置 ○3歳児以上の支援を要する子がいるクラスには、一人ずつ支援員を配置できている。支援を要する子が1クラスに複数いたり、2・3号認定園児の増加で、長時間児や乳児への支援も必要となってきているが、保育士不足の現状も重なり、そこまでは行き届いていない状態である。保育士の確保が緊急の課題である。</p> <p>(4)療育機関による出前型療育の推進 ○こども未来課職員が園に出向いて療育したことで、療育に消極的な保護者や就労で利用しにくい保護者の要支援児にも療育が加えられるようになった。そのことは、保護者の負担軽減にもなっている。また、療育の場を保育者も共有することで、保育者の負担感の軽減や力量向上にもなっている。早期療育に対する保護者への理解や啓発は引き続き、粘り強く努力していきたい。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>1 教職員一人ひとりの授業力の向上を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(1)スクラム研究会 ○1園、2小学校で実施した。中学校の研究会は、台風の影響のため中止とした。浜岡北小と白羽小で行われた事後研では「主体的・対話的で深い学び」の授業が実践されたか、子どもの姿を基に協議された。また、各中学校区で大切にしている主体性や規範意識についても共通理解を図ることができた。さらに授業の目指したい姿についても検討し、なめらかな接続を目指したい。</p> <p>(2)スクラムゼミナール ○各校の授業や研修について、奈須正裕教授（上智大学）から良さを認めていただきながらも厳しい指導を受けている。本年度学校評価で「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合は90%以上となった。授業力向上のために奈須教授から勧められた先進校を各校教員が積極的に視察し、力量アップに取り組んでいるが、教科の本質に迫った教材研究への取り組みには課題が残る。学校教育課から目指す授業の姿を示していく。</p> <p>(3)スクラム全体講座 ○県の新学習指導要領説明会が実施されたため行わなかった。</p> <p>(4)スクラム分散講座 ○隔年実施。本年度はなし。</p>
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(5)「ALT」の配置・英語活動指導員の配置 ○ALT 2名と英語活動指導員を小学校に派遣し、平成32年度完全実施となる外国語活動への対応を図った。教員の負担軽減は図られた。さらに担任の指導力の向上を図る必要がある。</p> <p>(6)「ICT」支援員の配置 ○ICT支援員を各校年間18回訪問指導ができるように計画した。タブレット等ICTを活用した授業が行われるようになった。中学校での活用をさらに推進する必要がある。</p>		
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(7)各種研修会 ○各種研修会を年間計画に位置付け「スクラム教育」の浸透が図られるように実施してきた。</p> <p>(8)2年目研修会 ○2年目の教員に対して、学力向上コンサルタントが授業のアドバイスとともに、3年目に提出する論文指導を行った。</p>		
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(9)「防災教育」 ○園小中が連携した引き渡し訓練を実施した。</p> <p>(10)「エネルギー教育」カリキュラム作り ○全小学校が原子力発電所内部の見学をした。また、浜岡東小と白羽小が総合的な学習の時間で年間を通してエネルギーについて学んだ。</p> <p>(11)キャリア教育カリキュラム作り ○本年度もCSディレクターの企画による職業講話を実施した。御前崎中15名、浜岡中7名の地域の方を招き実施することができた。講師の方からも大変好評であった。</p>		

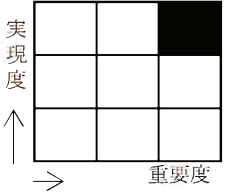
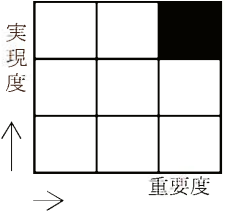
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価																																				
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>1 教職員一人ひとりの授業力の向上を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 197 813 347"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>		■								<p>(12) 灯台村塾 ○夏期休業中に、小学生を対象に「スナッグゴルフ村」「パステルアート村」「落語村」「親子工作村」「楽しく走る村」の5つの講座を開講した。各村は、浜岡カントリーや建築業者など地元の企業や人材の協力を得て開催され、85名の児童が参加した。学校では体験できない多様な活動が展開され、事後アンケートでは、98%以上の参加者が「たいへんよかった」「よかった」と答えている。</p>																										
		■																																				
<p>2 心と体づくりを推進します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 582 813 728"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1064 813 1209"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1321 813 1467"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1568 813 1713"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■												■					■												■					<p>(1) 御前崎市保・幼・小・中スクラムグッドマナー ○毎月10日に行われるスクラムグッドマナー運動は、各園・学校で工夫された挨拶運動が行われた。中学生が啓発ポスターの掲示を地元事業所へ依頼したり、大産業祭でクリアファイルを配付したりして広報をした。中部電力社員や消防署員の協力を得て、より活発になってきている。気持ちの良い挨拶が交わせる児童生徒を目指し、児童会や生徒会でも働きかけるように各校へ呼びかけていく。</p> <p>(2) 人間関係プログラム学習等の推進 ○岡田弘教授（東京聖栄大学）を年度初めに招聘し、浜岡中学校で師範授業を実施した。各校からも参観者があり、児童生徒へのかかわり方について研修を深めた。</p> <p>(3) 情報モラル学習の推進 ○各学校で子どもや保護者を対象とした情報モラル学習を行ったが、11月現在で浜岡中184件、御前崎中134件の危険な書き込みがあった。学校で内容を確認し、生徒やその保護者へ指導したり連絡をしたりしている。繰り返し指導を受ける生徒もおり、継続した指導が必要である。</p> <p>(4) マリンスポーツ体験の推進 ○マリンスポーツ体験を小学校全校で実施し、自分たちの住む御前崎の海を五感を通して感じ、海の良さを知る機会となった。はじめて体験する児童も多く、マリンスポーツの楽しさを知るきっかけ作りにもなっている。</p> <p>(5) 読書活動の推進 ○2名の学校図書館司書が分担して全小中学校を巡回した。図書館担当連絡会を年2回開催し、担当者と司書の連携を強化した。これにより書架の整理が進み、廃棄・選書が適正に行われるようになった。中学校では、定期的に図書館の開放が行われるようになり、図書館を訪れて読書に親しむ生徒が増えた。また、校内の空きスペースに、新刊本の紹介コーナーや季節や学期に適応した図書掲示コーナーが設置され、読書環境が整った。次年度図書館司書を1名増員し、各校の読書活動の推進を図りたい。</p>
		■																																				
		■																																				
	■																																					
	■																																					

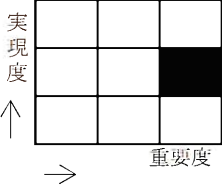
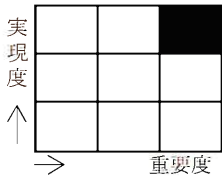
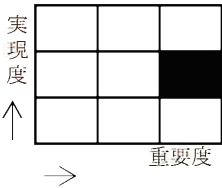
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価																			
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>3 個にきめ細やかに対応する教育環境体制づくりを進めます。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 235 821 369"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 806 821 952"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■												■				<p>(1)「しおかぜ先生」の配置 ○学力向上対策のため白羽小・浜岡東小・浜岡中に1名ずつ、不登校減少のため浜岡中に1名、市費負担教員を配置した。浜岡中の不登校は昨年比10名減少している。また、しおかぜ先生の指導員として学力向上コンサルタントを1名配置し、しおかぜ先生や若手教員の授業力向上を図っている。</p> <p>(2)「学習支援員等」の配置 ○特別支援学級を中心に学習支援員を市内6校に26人、養護教諭支援員を2名（浜岡中・第一小）、配置した。養護教諭支援員については、養護教諭の補助として、児童生徒へのきめ細やかな対応ができています。</p> <p>(3)「巡回相談」「教育相談」(4)就学時健康診断(5)就学支援委員会(6)個性身長支援教育専門家チーム会議については計画どおりに実施された。</p> <p>(7)適応指導教室「サンルーム」 ○「サンルーム」には5名の児童生徒が入級し、指導を受けている。様々な作業や体験を通して社会性を育てている。引きこもり傾向の生徒がいるため、中学校と連携を図り、家庭訪問や相談活動の充実を図っていく。</p> <p>(8)特別支援学級設置再編計画策定委員会(9)いじめ問題対策連絡協議会については計画どおりに実施された。</p>
		■																			
		■																			
	<p>4 スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1187 821 1332"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1590 821 1736"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■								■								<p>(1)スクラムスクール運営協議会 ○台風の影響による中止が1回あったため、年5回の開催となった。「早寝早起き朝ご飯」を重点に置き、年3回の朝食調査を実施した。園・小・中ともに食べる子の割合が増えてきている。園についてはメール調査も実施し、保護者への啓発ができた。</p> <p>(2)学校支援地域本部 ○学校支援地域本部の活動の充実を目指し「学校支援ボランティア交流集会」を浜岡北小で行った。ボランティア本来の意味を再確認し、自身の活動の仕方を見直したり、それぞれの活動の価値を自覚したりすることができた。</p> <p>(3)シニアスクール ○白羽小・浜岡中学校で43名のシニアが参加した。シニアの満足度は非常に高かった。児童との交流がさらに進み、お互いにとって価値のある事業になった。</p>
		■																			
	■																				

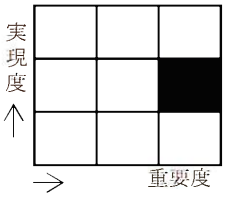
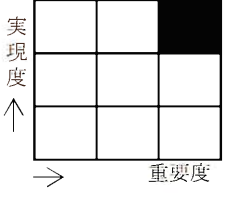
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価	
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>①スクラムで御前崎の教育を推進します。</p>		<p>(1)家庭の教育力向上のスクラム ○家庭教育学級の推進 今年度、12学級が各園・学校において保護者への学習、親子の体験活動の機会を提供し、家庭教育への支援などを行うことができた。なお、活動が毎年同じものの繰り返しにならないよう各学級の取組一覧を配布した。今後は、対象に保育園が入っていないため必要に応じて追加していきたい。</p> <p>○家庭教育支援員の設置 7人に委嘱。従来の支援センター等での相談業務に加え、支援を必要としていると思われる共働き世代を支援する場として「だれでも食堂もぐもぐ」を8地区で開催した。地域の団体等と連携をし活動した。新聞等へ掲載され支援員(となりのおばちゃん)の周知につながった。</p>
			<p>(2)青少年健全育成のスクラム ○サポート隊による見守り活動 地域で子どもたちを守り育てる運動の一環として、1,116人のサポート隊員により登下校時の見守りと声かけを地域全体で行なった。不審者情報は年間8件と昨年度より増えているが、事件等につながった事例はなく、活動の効果は高いと考える。</p> <p>○こども110番の家 438軒の登録をいただき、どの地域でも協力的に受け入れられている。子どもが駆け込んだという事例は現在ない。</p> <p>○青少年補導員の活動 夏・冬期の青少年補導、土曜パトロールを実施しているが、補導の事例はない。また、成人式やみなと夏祭りでの補導を行っている。</p> <p>○声かけ運動の推進 県が実施している「地域の青少年声掛け運動」に協調し、参加者を募っている。本年度までの登録者は、4,810人で、年間を通して運動を行っている。組織的な運動ではなく、個人的な活動のため、運動を盛り上げる取り組みが必要である。</p> <p>○青少年健全育成の推進 地域、学校、行政がスクラムを組み、各地区で青少年健全育成懇談会を開催した。しかし、出席者が役員だけという場合が多く、市民への広がりが課題である。 また、「青少年の未来をつむぐ集い」を実施し、わたしの主張作文、手づくり絵本コンクール表彰・発表、ボーイスカウト御前崎第1団設立30周年記念発表、英語話し方能力研究大会参加者スピーチ発表など子どもたちが頑張っている姿を市民に披露した。市民が一体となって青少年健全育成についての機運を醸成できた。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

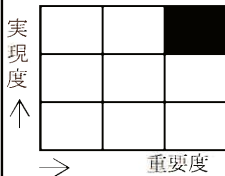
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教</p>	<p>①スクラムで御前崎の教育を推進します。</p>		<p>成人式では、今後の御前崎市を担っていく意識を持ってもらうために、市内出身者で活躍している飯塚翔太選手から新成人に向けての応援メッセージを上映した。また、新たに商工会と連携し市内企業の紹介と関連したアンケートを実施するなど工夫した取り組みができた。</p>
			<p>(3)体験型学習機会のスクラム ○青少年リーダー育成事業『御前崎クエスト』の実施 御前崎市内での体験活動を通じ、地域の魅力とのふれあい等様々な自然体験学習を行った。参加者は小学生27名、リーダーとして中学生2名、高校生4名、大学生3名が参加。異年齢の交流、適応力などを養うことができた。今年度から全11回の年間プログラムとし、参加者間のつながりと体験内容の充実を図るとともに、大産業祭にて活動内容を子供達自らが発表し、多くの市民に活動の周知を図ることができた。今後は、雨天時の体験活動の充実を図りたい。</p> <p>○親子工作教室の開催 29家族66名の小学生親子の参加があった。今年度で35回目を迎えた歴史ある教室であり、木のぬくもりを親子で体験できる貴重な場となっている。 また、市内木材業、大工業者の振興や周知にもつながる活動でもある。</p>
			<p>(4)スクラムグッドマナー推進のスクラム ○毎月10日スクラムグッドマナーの日(あいさつ運動)との連携を図り、スクラムグッドマナー運動の一環として、意識高揚と啓発のためにスクラムグッドマナーTシャツを作成し、活動の趣旨を説明会等で実施した。市内の協力者に着用していただいた。今後は、更なる推進普及のため新たな展開を検討中である。なお、大産業祭において、趣旨周知のためのチラシを配布した。</p>
<p>②誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習を推進します。</p>		<p>(1)生涯学習基盤・拠点整備のスクラム ○安心・安全な公民館等の維持管理 一部の公民館では老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増加しているが、予算の範囲内で対応している状況である。今年度、劣化診断を実施し、来年度に修繕計画を策定して誰もが安心して利用できる公民館となるよう計画的な修繕・工事の実施に努めていく。</p> <p>○公民館活動の支援 公民館活動については、公民館に対して各地区の特色を生かした各種講座やコミュニティ事業を展開できるよう公民館活動支援補助金を交付し、誰もが参加できる学習の場を提供している。各公民館とも工夫した活動を行っており、効果は高いと考える。 反面、本来の公民館活動以外の業務が多く、館長、事務職員の負担増加が課題となっている。市や社会福祉協議会からの依頼業務調査を実施したことで、これまで見えてこなかった業務量の把握ができたため、今後公民館の負担減に繋げていけるよう努めていく。</p>	

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>②誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習を推進します。</p>		<p>○社会教育学級の推進 今年度28学級が登録し、各学級が年間を通じて様々な活動を行っている。各学級の活動には、5万円を限度に活動補助を行っており、様々な活動に使用できるため、利用価値の高いものになっている。さらに、活動が充実するよう、団体同士の交流を兼ねた研修会を実施し、情報提供などの支援も充実させたい。</p> <p>○公民館のあり方の検討 持続可能な地域づくりのための拠点となる公民館あり方の方針を決定し、庁内及び公民館長へ説明をした。公民館長が現状兼務している防災の方面隊長及び社会福祉協議会支部長の独立を目指しながら、持続可能な地区づくりのための拠点(コミュニティセンター的施設)を目指し、総務部、教育部等で検討を進めている。</p>
		<p>(2)生涯学習情報発信のスクラム ○生涯学習の情報発信 ケーブルテレビや公民館だよりを利用し広報を行っている。市民の公民館活動や生涯学習への参加意欲の高揚を図るため、今後は各種講座情報を集約した分かりやすい情報発信を行っていく。</p>	
	<p>③スクラム・スクール・プランで子どもを育成します。</p>		<p>(1)地域文化財継承のスクラム ○文化財保護審議会 新任の委員の委嘱や今年度の文化財保護事業の計画等を協議するため、審議会を1回開催した。また、文化財保護審議会委員の視察研修として、長野県諏訪市の諏訪市博物館、諏訪大社上社本宮、高島城跡の視察研修を実施し、諏訪市との交流や委員の資質と知識の向上を図った。</p> <p>○文化財年報 文化財年報を作成し、文化財保護事業の記録保存等を図った。また、御前崎市ホームページを活用してデジタル配信を行った。これにより、今まで閲覧する場所が限られていた文化財年報を、手軽に誰でも活用することができるようになった。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>③スクラム・スクール・プランで子どもを育成します。</p>	<p>○埋蔵文化財出張授業・出土資料貸出 今年度は、浜岡東小学校PTAからの依頼で、「東っ子まつり」参加者を対象とした勾玉づくり体験と昔の火起こし体験を実施し、2時間で合計37名の方が参加した。来年度は各小学校等にさらに情報提供するとともに授業の内容を魅力あるものにする事で、多くの学校等で開催できるようにしたい。</p> <p>○大産業祭における体験学習 埋蔵文化財の普及啓発のため、昔の火起こしと勾玉づくりの体験学習を実施した。</p> <p>○白羽の風蝕礫産地調査の実施 白羽の風蝕礫産地調査を1月から3月まで実施し、風蝕礫の分布や産地の土地利用、植生等の基礎データが得られた。</p> <p>○朝比奈地区市民歴史講座の開催 29名の参加者の申し込みがあり、朝比奈地区の城館跡などの文化財を学習する講演会を10月12日に開催した。また、10月27日には、朝比奈地区の指定文化財の仏像・神像を巡る文化財巡りを開催した。指定文化財の所有者や管理者及び仏像の専門家の協力を得て、市民に御前崎市の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができた。</p> <p>○ウミガメ保護活動 昭和47年から開始したウミガメ保護監視活動を地道に行うことにより、本年度は917頭の子ガメのふ化を確認できた。例年に比べウミガメの上陸数・産卵数ともに低い結果であった。ウミガメの主な産卵地である下岬海岸については、砂浜の流木及び漂着ごみの撤去を行い、環境の保護に努めた。今後もウミガメが御前崎市で産卵ができるよう、保護活動の充実と砂浜の環境保全に努めていく。</p>
		<p>(2)文化・芸術にふれる機会提供のスクラム</p> <p>○市文化祭 市文化協会と連携し、小・中学校音楽発表会を皮切りに、さまざまな文化活動を披露する文化祭を開催した。今年度は、芸能部門で初めて参加する団体が6団体あり、幅広い発表が行われた。芸能部門・展示部門共に、一般参加者が継続して参加してもらえるように体制を作り、市内の文化交流をさらに図れるように努めたい。</p> <p>○伝統文化子ども教室 丸尾記念館で、七夕・お月見のお茶会や、伝統文化親子教室を開催し、幅広い年代の市民へ芸術文化活動の場を提供することができた。</p>



大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価									
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>③スクラム・スクール・プランで子どもを育成します。</p>	<p>○県巡回劇場の実施 市内小学校5,6年生を対象に、ホルン・トランペット・トロンボーン演奏会を行った。子どもたちにとって、音楽芸術を身近なものに感じることができ、芸術への興味を高めることができた。</p> <p>○クリスマスコンサート 28回目の開催となり、市民に定着した事業となっており、音楽の普及・振興に寄与している。</p> <p>○映画上映事業 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、振興公社と連携して開催した。今年度は御前崎市出身の俳優故加藤剛氏の出演した作品を含め、日本映画の名作4作品を上映した。</p> <p>○文芸おまえざき第15号の編集 市民72人から111作品の応募があり、市民の文芸に対する関心を高めることができた。</p> <p>○市文化協会とのスクラム 市文化協会へ運営補助金を交付し、自主的な文化活動を支援することで文化の振興に寄与している。</p> <p>○賞賜金制度の活用 文化の振興並びに地域の発展に寄与した優秀な団体に対して1件、個人に対して1件、芸術文化振興賞賜金を交付した。</p> <p>(3)文化・芸術を楽しむ活動のスクラム ○旧鈴木医院(鈴木東洋邸)新野左馬助公展示館の管理・運営 新野左馬助公顕彰会に管理運営を委託して、土・日及び祝日の開館日と平日の臨時開館や予約による開館等を行った。また、企画事業として、8月11日から11月11日に衣装特別展示、11月20日から1月31日まで鑑兜特別展示を開催し、展示館の活用及び来館者の増加や文化の振興に寄与した。</p>									
	<p>④生涯スポーツを推進します。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-right: 5px;">実現度 ↑</div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="margin-left: 5px;">→ 重要度</div> </div> <p>(1)生涯スポーツ推進のスクラム ○スポーツ推進委員 スポーツ推進委員の指導により、軽スポーツ教室を開催した。人気のあるソフトバレー教室やデカスポテニス教室を取り入れ、参加者も定員に近い人数が集まった。またソフトバレー大会は多くのチームが参加するが、綱引き大会は、参加チームが年々減少傾向にあるため、市体育協会との連携を検討すると共に内容の見直しを行い、参加チームを増加させたい。 これらの活動によって、スポーツに親しむ機会が増え、市民の健康増進・交流の場提供に大きく寄与していると考え。</p>									

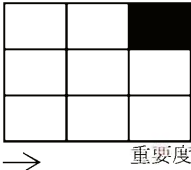
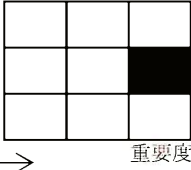
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価								
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>④生涯スポーツを推進します。</p>		<p>○エンジョイスports御前崎 市民の体力測定会と飯塚翔太選手によるランニング教室、市体育協会に委託して小学生チャレンジ記録会を実施し約200人が参加した。体力測定は毎年継続して行うことの重要性を伝え、リピーターの確保と新たな参加者を募り、今後も継続していきたい。</p> <p>○静岡県市町対抗駅伝参加 昨年度から新監督を迎え新たな体制でスタートした。監督が講師となり、ランニング講座を開催し、候補選手の確保と底辺拡大に努めた。市の部24位、総合31位、記録は2時間28分54秒と、昨年度と比べて大きな躍進とはいかなかったが、数年後に上位入賞という目標に向かって中期的な戦略をたてることができた。</p> <p>○友好都市スポーツ交流事業 友好都市である長野県高森町の高森中学校との野球交流として、例年、島岡杯野球大会に参加している。本年度は浜岡中学校が参加した。</p> <p>○体育施設整備・改修 施設を安全かつ快適に利用できるように整備・改修を実施しているが、市民プールや総合運動場が建設後20年を経過し、大規模な改修が必要になっている。補助金の確保と併せ、計画的に改修を行っていく。</p> <p>○関係機関とのスクラム 志太榛原小笠地区綱引連盟と連携し、市綱引き大会を実施することができた。</p> <p>○賞賜金制度の活用 東海大会や全国大会に出場した選手に47件の賞賜金の交付を行った。本年度はアジア大会でメダルを獲得した飯塚翔太選手(陸上競技)、廣川靖晃選手(パラグライディング)にも交付した。</p>							
		<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="624 1507 815 1653"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p>								

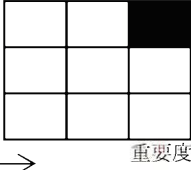
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策4) 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育</p>	<p>⑤地域の活性化、市民の健康と福祉の増進を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="624 300 815 448"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(1)文化の振興 ○文化講座・公演の開催 指定管理者による絵画教室や書き方教室、夏休みちよこっとアート講座、文化公演「岸辺のヤービ」など様々な文化芸術に親しむ機会を提供し、多くの方に参加していただき文化振興を図ることができた。今後も、市民ニーズにあった事業展開に努めていく。</p> <p>(2)スポーツの振興 ○スポーツ教室等の開催 指定管理者による市民プールでのエアロビクス教室等のスタジオ教室、水泳教室、カヌー体験、体力測定会、浜岡総合運動場でのテニス教室、B&G海洋センターでの幼児・小学生体操教室やピラティス教室、トランポリン教室などの体育館教室、SUP等のマリンスポーツ教室など様々なスポーツに親しむ機会を提供し、多くの方に参加していただき健康増進とスポーツ振興を図ることができた。今後も、市民ニーズにあった事業展開に努めていく。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策5) 市民とともに考 え、ともに歩む 図書館</p>	<p>①市民の力を活 かした図書館活 動を推進しま す。</p>		<p>(1)各種事業の企画・展示ギャラリーの活用 ○市民運営による実行委員会により第4回手 作り絵本コンクールを開催した。今回も市内 外、遠くは県外からの応募があり、アスパル の存在をPRすることができた。前回は上回 る73作品の応募があり、当コンクールの認知 がさらに拡大したと感じた。作品の展示に は、応募者の家族など多くの来館が見られ た。</p> <p>○開館25周年を迎え、より市民に親しまれる 図書館となるよう、誰もが楽しく参画できる 文化事業を企画した。生活に役立つ東洋医学 をテーマとした講演会や、本に囲まれて気軽 にクラシックを楽しめるコンサート、市民に 講師を依頼した親子で楽しむクラフトバンド 工作教室など、それぞれに好評を得た。2階 展示ギャラリー等の施設は市民交流の場とし て様々な作品が発表され、多くの方が観覧 のため来館した。</p> <p>(2)特設コーナーの設置 ○1階閲覧室の各特集コーナーにおいては、 様々なテーマ展示を実施し、新たな興味の喚 起と利用の促進を図った。</p>
	<p>②子どもの読書 活動を推進しま す。</p>		<p>(1)なぶら子ども読書活動の推進 ○子どもが読書に親しむきっかけづくりとし て、園や学校と連携し、巡回貸出や読み聞か せ、授業支援のための資料の貸出などを行っ た。また、未就園児への働きかけとして子育 て支援センターでの読み聞かせや講話、6か 月健康相談での「絵本や読み聞かせの大切 さ」等の啓発活動に努めた。次年度子ども読 書活動推進計画策定を行なう。</p> <p>○今年度も、読み聞かせボランティアの交流 を兼ねた研修会を開催した。活動を続けてい くためのスキルアップの機会として、また日 頃、それぞれが活動しているなかで抱く不安 や疑問、やりがいを分かち合う場として好評 だった。ここでの交流が、図書館の新たなお 話し会発足へつながった。今後も読み聞かせ ボランティアの育成とネットワークづくりを 進めていくことが重要であると考えている。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

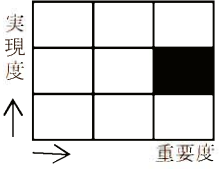
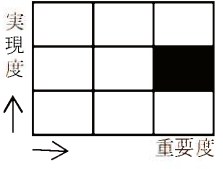
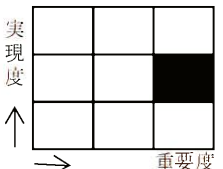
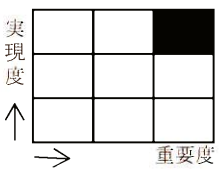
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策5) 市民とともに考 え、ともに歩む 図書館</p>	<p>③生涯学習の 拠点として快適 で魅力あるサー ビスを提供しま す。</p>		<p>(1)様々な資料の収集・提供・管理 ○市民のニーズに応えられる選書を心がけ、蔵書の充実を図った。購入できない資料は相互貸借等を活用し、リクエストに可能な限り応えるよう努めた。</p> <p>○視聴覚資料においても、利用者の年齢層や貸出の傾向をよく検討して幅広い分野からの選定を心がけ、所蔵内容の充実に努めた。また資料数が充実したことにより、貸出上限数の増と貸出期間の延長を試行し、利用者の要望に応えた。</p> <p>(2)必要な情報の提供 ○辞書や事典などの参考図書を備え、インターネットコーナーでは検索エンジンのほか新聞記事データベースを導入し、利用者の研究・調査やレファレンスに応えた。図書館ホームページでは、休館日・新着図書・展示・催しなどの情報を積極的に発信し、館内においてはポスターやチラシで市内外の様々なイベントの情報を提供した。</p> <p>(3)快適な読書環境の提供 ○空調や自動ドアの不具合、照明器具の故障など、経年劣化による事態に対して修繕等の措置を施し、快適な読書空間の提供に努めた。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策6) 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食</p>	<p>①食育と地産地消を推進します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="643 230 836 371"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(1)食育指導の推進 ○今年度は、2つの幼稚園と2つの小学校から依頼を受け園児、1年生、4年生の児童と保護者を対象に栄養講話を行った。栄養教諭が試食会後保護者会にも参加し、食育の推進をすることができた。さらに、全小学校6年生のテーブルマナー指導、4年生の生活習慣病予防講座、学校保健委員会での講話、総合学習での講話等、様々な依頼を受け、指導の場があった。</p> <p>○5つの小学校の1年生から6年生の学級活動に講師として参加したり、各小学校の全クラスで給食前15分指導を実施したり、給食中の様子を見に行ったりすることを通して、残食が減る、好き嫌いを減らすなど、子どもたちに食育の意識が高まることが確認できた。</p>
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="643 781 836 922"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(2)地産地消の計画的・安定的な推進 ○食材の購入にあたり、地産地消を推進した。県内産品目の使用割合が51%、その内の11%が地元産のものを活用した。</p>		
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="643 1034 836 1176"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(3)献立づくりの工夫 ○学校給食を「生きた教材」として、献立づくりの工夫に努めた。一方残食率は、園・学校・給食センターの連携により近年減少傾向にあるが、小中学校に比べ、園においてはまだ残食が目立つ。また学校間の格差もある。全体の残食率は4%で、前年とほぼ同様であった。</p>		
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="643 1323 836 1464"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(4)アレルギー対応 ○アレルギー対応については、事故防止を防ぐためチェック体制をセンター所長、園長、校長の検食とともに、当日のアレルギー食の確認、記録簿への記入をお願いした。さらに、栄養教諭から調理員へのチェック、調理後の栄養教諭へのチェック、配送のチェック、園や学校の受け取りのチェック、担任のチェックの6段階のチェック体制を強化し、事故防止に努めた。</p>		

(施策6) 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食	②施設や設備の計画的な整備を推進します。	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> 重要度 →						■				(1)給食センター統合 ○新学校給食センター建設に向けて、建設用地を決定した。設計業者及び厨房機器業者の業務提携（事業組織体）による公募型プロポーザルを実施し、業者を決定した。
				■								
実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> 重要度 →			■							(2)学校給食衛生管理基準に沿った対応 ○安心安全な給食の提供を確実にするため、毎日衛生管理者である栄養教諭が委託業者の代表者と連絡を取り合い、施設や食品、調理員の衛生の管理に対する指導を行った。 ○毎日、栄養教諭が委託業者の代表者に調理及び配送等の作業動線図や作業工程表を示し、確認しあい、適切な調理が行われているか調理後も指示した作業の変更点の確認も行った。 ○調理員、職員、園や学校等の給食従事者について、月2回の保菌検査を実施。また調理員・職員はノロウイルス検査など、必要に応じた諸検査を実施し衛生管理に努めた。 ○異物混入を防ぐため、食材の納入から調理、配缶、配送に至るまで、安全管理の徹底を行っており、調理員及び物資納入業者の意識も向上した。		
		■										
実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> 重要度 →						■				(3)給食費未納解消 ○課員全員が分担して自宅訪問を行い、徴収をしたり、給食費を児童手当から徴収する手続きを進めた結果、未納者が減少した。また過年度の多額未納者に対しては、法的措置の手続きを進め、未納者減少に努めた。		
		■										

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	点 検 ・ 評 価
<p>(施策7) 充実した教育環境の整備を図る 教育総務</p>	<p>①安全安心な教育環境の充実を図ります。</p>		<p>(1)老朽化していく施設・設備の維持管理 ○特定建築物・建築設備定期検査の結果をもとに、定期的な修繕、長寿命化改修工事を順次計画した。</p> <p>(2)安心安全な教育環境の向上 ○当初予算で計画した御前崎小学校、白羽小学校のトイレ洋式化工事を行い、2小学校とも洋式化率は約70%に向上し、環境面の改善に努めた。</p> <p>○浜岡東小、浜岡北小の多目的教室等へ空調機器を導入し、集団授業による教育環境の整備に努めた。また、始・終業式としての会場利用など、有効な活用を進めていく。近年の異常気象から児童・生徒の学習環境を確保するため、来年度の夏までに普通教室へエアコンを設置する予定である。</p> <p>(3)学校の防犯・防災対策の推進 校内施設においては、監視カメラを各校教台整備し、外部からの侵入防止対策が図られている。また、通学路の防犯灯は不点灯による修繕時に併せ、随時LED化の更新を進めていく。</p>
	<p>②ICT機器を活用した教育に必要な教育環境を整備します。</p>		<p>(1)教育の情報化の推進 ○文部科学省の整備計画に基づき、教育ICT化環境整備を実施し、学校における情報機器の安定的かつ計画的な整備を進めてきた。平成30年度から改正された基本計画の内容を踏まえ、今後の整備を進めていく。</p> <p>(2)普通教室でのICT教育の促進 ○市内各小中学校にiPad40台を配備した上、通信機器の設定によって、タブレットPCやモニターなど、既存関連機器と連動した幅広いICT環境となった。</p> <p>○今年度はICT支援員2名が全校を回り、パソコンの有効な活用につながった。</p> <p>(3)情報機器の更新 ○新たな基本計画により、機器の選定が必要となる。また、電子黒板等機器の更なる導入と、それを利用する教員の指導が今後の課題である。</p>
	<p>③小学校に太陽光発電設備を設置し、エネルギー教育の環境を整備します。</p>		<p>(1)太陽光発電設備の整備 ○国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業を利用し、浜岡東小学校、御前崎小学校2校へ太陽光発電設備を設置した。施設自体のエネルギーコスト低減を図るとともに、御前崎市エネルギービジョン計画に基づき、生徒児童へのエネルギー教育・学習の促進を進めていく。</p>
	<p>④浜岡中学校の建替えを進めています。</p>		<p>(1)浜岡中学校のあるべき姿の検討 ○本年度、「設計・施工一括発注方式」による改築をスタートし、年度末までに仮設校舎の建築が終了する。</p>

< 語句の説明 >

※スクラム・スクール・プラン(SSP)：保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高校を「1つの学校」ととらえることを基本として、園、学校、地域、行政がスクラム(相互理解、観の共有)を組んで、「とぎれない教育」の実現を目指す。

※スクラムゼミナール: 上智大学奈須正裕教授を授業改善スーパーバイザーとして招き、園と学校に訪問して指導をいただき、職員の資質向上を目指す。

※SSP推進委員会：主幹教諭、教務主任、副園長で構成され、スクラム・スクール・プランの推進、各事業運営のサポートを行う。

※CSディレクター: コミュニティスクールディレクターの略。本市では2名配置し、運営協議会の事務局を担当している。また中学校のキャリア教育を充実させるため企業や事業所と連絡を取り講師の選定や生徒の職業体験先との連絡調整をしている。

※スクラムスクール運営協議会：学校運営協議会の御前崎版として、保護者や地域の人へのスクラム・スクール・プランについての理解の促進及び地域を巻き込んだ教育の実現に向け話し合う組織。中学校区単位で、学識経験者、地域代表者、園長、学校長で構成される。

※学校支援地域本部(地域学校協働本部)：学校と地域の教育力(人材)をつなぐ目的で教育委員会学校教育課内に設置した組織。2名の学校支援コーディネーターを置いている。

※スクラムグッドマナー：豊かな心と思いやりのある心を育てることを目的に、「あいさつで つくろうスクラム 地域と共に」を合言葉として、市民のグッドマナーづくりを子どもたちが率先して進めていく。

※シニアスクール：55歳以上の市民を対象に、学校において年間10講座程度の授業を行う。児童生徒との交流もあり、開かれた学校を目指す。

※スポーツ及び芸術文化振興賞賜金:本市のスポーツ及び芸術文化の振興並びに地域の発展などに寄与した優秀な個人及び団体に対し、スポーツ及び芸術文化振興賞賜金を交付する。(対象大会・表彰により金額を決定)

IV 学識経験者の意見

・情報発信に関して、各学校の情報がなかなか入ってこないなので、できるだけ整理してホームページの更新をしっかりとやってほしい。

・『スクラム御前崎』に関して、たくさん施策があり、成果が見えにくいので何に取り組むか重点を絞ってもよいと思う。

・乳幼児教育は、心の根っこ教育ということで「スクラム」の一番底辺にあるものであり、それがあってこそその学校教育、その上の生涯教育がある。世代交代や保育士不足などいろいろな問題があり、さらに家庭支援・家庭教育力の低下から業務が多岐に渡るという中で、新しい風をどういうふうにか吹かせるか、皆さん本当に頑張っている。乳幼児教育は学校教育課とこども未来課の2つの課が所管しているので、連携をもっと図っていただきたい。

・先生方の質、授業力向上には研究会、研究授業、授業案の検討委員会、授業案をどれだけ自分で作っているのかが関わってくる。来年度以降、指導要領の中での授業力の向上をできるような先生方になってほしいと思う。

・スクラムグッドマナー運動について、子どもたちがさようならとかの挨拶をすごくできるようになっている。子どもたちの中に挨拶をしようという気持ちを何年か積み重ねていくことに意味があるのかなと感じている。

・家庭教育学級について、保育園が入っていないが、ニーズ関係なくその場を提供してあげた方がいいと思う。

・白羽の風蝕礫産地調査について、公的機関のどこでどのようなものが保管されているかの実態把握はしておいた方がいい。

御前崎市教育委員会の自己点検及び評価 <総合評価>

1 大項目ごとの評価

「大項目1 教育委員会の活動」について

まず、全体として、御前崎市教育委員会の教育施策が、すべてスクラムプランに位置づけられ体系化されていることが最大の特徴である。教育委員会の諸施策がスクラムプランとして関連づけられていることが、地域連携を中心とした特色ある活動を生むための源となっている。教育委員会の施策方針の明確化が求められる中で、御前崎市全体の教育施策が同一名称のもとに統一され体系化されていることは全国的に見ても特色を持った方法である。

次に、個別の施策については、中項目(1)の①②③に関する施策が成果を上げている。特に、①の教育委員の研修に関しては、今後重要性を増すICTの先進的授業を視察するなど、例年意欲的な取組がなされ、教育委員の資質の向上に寄与している。また、②の総合教育会議については、平成27年度の発足以降、市長と教育長の連携を強化する役割を担うとともに、行政執行部の意見を反映した教育施策の推進につながっている。

一方、④の広報・発信については、教育委員会の活動やスクラムプランに対する市民の関心を高めるためにも、一層の工夫が必要とされる。今後、HPの関連箇所を教員研修会で連絡、区長会への周知・報告、公民館活動での活用なども考えられ、議事録の公開といった一方向的な在り方を一歩超え、双方向的な方法を工夫することが求められる。

「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について

教育委員会が管理・執行する事務については、『スクラム御前崎—郷土を愛し未来を創る人づくり—』に体系的に示された教育施策を踏まえ、着実な管理・執行が行われている。「教育委員会が管理・執行する事務」は、御前崎市教育のさらなる充実と発展の基盤となるものであり、自己点検・評価報告書の結果を踏まえ、一層効果的で円滑な管理・執行に努力することが重要である。

「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について

施策2の「これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育」については、従前から非常に高い割合である「子どもが園に通うことを楽しみにしている」保護者の割合が、平成30年度も98%に達しており、乳幼児教育に関する御前崎市の教育施策の効果が表れている。同様に、通園している子どもの保護者の中で、「子育てを楽しんでいる」割合も98%と非常に高いことから、総合的に教育施策の効果が表れているといえる。なお、乳幼児教育の推進を支える教諭・保育士の資質能力については、各種研修の工夫によって力量の向上が図られているが、年齢構成の関係により平均年齢が若いことから、今後も様々な研修を通じて一層の資質向上を図っていくことが求められる。

現在、少子化が進行する中で、人口維持・増加の施策と連動して、乳幼児教育の重要性が増しており、御前崎市では、地域子育て支援センターの活動をはじめ、巡回相談、相談事業、ケース検討会議、出前型療育など、地域に密着した取り組みが行われている。一方、

ネグレクト、虐待、DV など乳幼児を抱える家庭の問題も、依然として見られることから、乳幼児に対する家庭の教育力を高める施策を継続して行っていくことが肝要である。スクラムプランを柱とした幼保小連携および地域連携を基盤に、今後も「遊び込む子」の育成を目指して保育の質を高める施策を展開していくことが重要である。

施策3の「これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育」については、スクラム研究会を中心とする各研修会の実施、ALT、ICT 支援員、「しおかぜ」先生、学習支援員等の配置、灯台村塾の継続的開催、CS ディレクター企画の職業講話、マリンスポーツ体験など、多様な施策が実施されている。灯台村塾は、参加者の98%に好評であり、マリンスポーツ体験、シニアスクールなどとともに御前崎市ならではの施策となっている。また、毎年継続して開催されているシニアスクールは、高齢者の生涯学習と児童生徒の異世代交流の場として大きな特色になっている。次年度計画されている図書館司書の増員をはじめ、読書活動の推進体制については、今後さらに整備されていくことが期待される。スクラムスクール運営協議会、学校支援地域本部の設置など、学校を応援する地域関係の仕組みが整ってきたことも成果である。今後も、自己点検・評価の結果を踏まえ、御前崎市の特色を生かした創意工夫のある取り組みを推進して頂きたい。

施策4の「誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進を図る社会教育」については、家庭教育学級の推進、家庭教育支援員の配置、青少年健全育成の活動、スクラムグッドマナー、地域文化財の継承、文化・芸術活動の推進、生涯スポーツ振興の諸施策などが成果を上げている。特に、地域文化財の継承として、新野左間助公展示館、ウミガメ保護活動、文芸おまえぎの刊行、マリンスポーツ振興、文化財年報のデジタル化など、時代の動きを取り入れつつ、地域の文化・自然を生かした活動が展開されている。今後も、御前崎市の自然・文化・伝統などを生かした多様な取組を充実させていくことが期待される。

施策5の「市民とともに考え、ともに歩む図書館」については、図書館主催の文化活動を中心に、市民に親しまれる図書館を目指した施策が多面的かつ総合的に推進されている。手作り絵本コンクールの応募が増加しており、また、なぶら子ども読書活動、読み聞かせボランティア交流研修会、視聴覚資料の充実等、市民ニーズを踏まえた取組が積極的に行われている。今後も、施策3で示された学校教育における読書活動の推進と連動させ、先進的で市民に身近な図書館を目指した活動を推進していくことが望まれる。

施策6の「子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食」については、栄養講話など食育指導の充実と地産地消の推進、安全安心な給食の提供などの施策が成果を上げている。特に、安全安心な給食やアレルギー食への配慮に関しては、6段階のチェック体制が強化されており、園・学校給食の安全管理に関する関係職員の高い意識が見られる。

施策7の「充実した教育環境の整備を図る教育総務」については、毎年予算状況の厳しい中で、必要な点検整備と計画的な改善が図られている。ICT 環境の整備に関しては、市内各小学校への Ipad 配備、ICT 指導員の配置などが継続的に行われ、ICT 環境の向上に寄与している。トイレ洋式率の向上、空調機器の配備、太陽光発電設備など、徐々に学校の施設環境が整ってきている。学校は災害時の避難場所・避難所となることから、防災・減災の観点も含めて、今後も長期的な施設設備の充実と改善が重要となる。

2 全体についての総合的評価

御前崎市教育委員会の活動全体として、御前崎市の自然・文化・伝統を生かした教育施策が、スクラムプランを柱にして体系化・明確化されている。スクラムプランのように、一つの理念を中核にして、各種の教育施策が体系化されていることは近隣他市の教育委員会には見られない特色といえる。ただし、自己点検・評価の実現度の低い項目については、今後も原因を考究するとともに一層の改善を図る必要がある。

最後に、今後に向けた留意点として、次の事項が挙げられる。

- ①教育委員会の活動に関する広報、家庭・地域との一層の連携、社会教育および図書館活動の推進などについて、今後もスクラムプランの教育施策と関連させて推進することにより、御前崎市全体として総合的に成果が上がるよう図ることが重要である。また、防災教育については、相当な努力がなされており、今後も対策を強化していくことが期待される。
- ②地域文化財の保護や文化活動の継承については、その重要性和価値に鑑み、今後も一層の充実と工夫改善が必要である。御前崎市の豊かな自然・文化・伝統などが、学校教育に関する教材や教育活動として、今後も有意義に活用されることが望まれる。特に、灯台村塾、シニアスクール、手作り絵本コンクール、マリンスポーツ体験、ウミガメ保護活動のような御前崎市の特色ある取組が、市民や地域の自主的な活動として、学校と地域の連携を強めるために生かされるよう配慮することが重要である。
- ③平成30年度の「自己点検・評価報告書作成に伴う学識経験者会議」でも詳細に検討され多くの参考になる提言や改善意見が出されているように、御前崎市の教育施策およびその成果の検証改善に、地域の教育関係者の知見を生かし、一層の充実を図ることが重要である。